

平成30年 9月25日

宗像市議会  
議長 花田 鷹人 様

予算決算第2特別委員会  
委員長 井上 正文

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

### 記

第67号議案から第74号議案までの8議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、平成29年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

### 第67号議案 平成29年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 1,004万5,266円（前年度比38.1%減）  
歳出決算額 772万8,899円（前年度比16.9%減）  
歳入歳出差引額 231万6,367円
- 2 歳入決算額が前年度と比較して減少しているのは、主に貸付回収金の減少及び前年度の繰上償還の影響によるものであり、歳出決算額が前年度と比較して減少しているのは、前年度の繰上償還に伴う公債費の減少によるものである。
- 3 29年度中の完済は2件。また、債権回収業者に依頼しているケースが1件あるが、回収には至っていない。本人や保証人が死亡していたり支払いが困難な状況であったりに対応に苦慮しているが、国の償還推進助成金制度の利用や法的措置も検討しながら、今後も顧問弁護士と協議を続けていく。

#### 【意見】

##### （賛成意見）

- ・個人のプライバシーなど全ての情報を提供しなければ債権回収につながらないので、債権回収業者に依頼するというのはいかかなものかと思う。行政が責任を持つという努力を今後も続けてほしい。

#### 【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

## 第 68 号議案 平成 29 年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔事業勘定〕

- 1 歳入決算額 120億2,977万2,204円（前年度比1.9%減）  
歳出決算額 116億3,277万50円（前年度比2.1%減）  
歳入歳出差引額 3億9,700万2,154円
- 2 単年度収支は約1,500万円であり、黒字決算となった。これは、予算編成時に歳入として見込むことのできない収入があったこと、また、国庫支出金等超過交付金があったことによる歳入の増が主な要因である。
- 3 保険税の現年度分の収納率は96.91%で、前年度より0.09ポイント上昇した。口座振替の割合は69.1%で、前年度より3.2ポイント上昇した。
- 4 医療費適正化の取り組みとして、レセプト点検、柔道整復師施術療養費支給申請書の点検強化や頻回受診者への照会文書送付、医療費通知の発送などを行った。また、ジェネリック医薬品の使用促進では、差額通知書の発行やジェネリック希望カードの配布などにより普及率が上昇した。
- 5 データヘルス計画に基づき、特定健診や特定保健指導などを実施した。糖尿病性腎症重症化予防事業では、事業対象者18人から人工透析に移行した対象者はおらず、新規の人工透析への移行を抑制した。

#### 〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 7,724万5,507円（前年度比2.6%増）  
歳出決算額 7,629万7,467円（前年度比2.4%増）  
歳入歳出差引額 94万8,040円
- 2 歳入決算額増加の主な要因は、受診者数が増えたことによる診療収入の増加である。歳出決算額増加の主な要因は、職員人件費と医薬品購入費等の増加によるものである。

### 【意見】

#### （賛成意見）

- ・口座振替の推進などにより収納率が向上していること、レセプト点検においても効果が表れていること、ジェネリック医薬品の普及率も向上していることから、その努力を評価する。

#### （反対意見）

- ・本市は県内でも資格証明書発行数や滞納処分件数が多い。また、過去に国保税の値上げを行ってきたことが、今、基金を積み増すという状況になっているので、基金を使って国保税を上げない、もしくは下げるよう配慮してほしい。

### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

## 第 69 号議案 平成 29 年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 15億6,110万7,647円（前年度比4.3%増）  
歳出決算額 15億1,520万1,897円（前年度比4.2%増）  
歳入歳出差引額 4,590万5,750円
- 2 歳入決算額及び歳出決算額が増加した要因は、いずれも被保険者数の増加によるものである。被保険者数は、前年度比で75歳以上が409人増加、一定の障がいがある65歳以上75歳未満が22人増加したため、全体では431人、3.3%増となった。
- 3 保険料の現年度分の収納率は99.68%で、前年度より0.1ポイント上昇した。

### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

## 第 70 号議案 平成 29 年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

#### 〔保険事業勘定〕

- 1 歳入決算額 76億7,626万4,149円（前年度比3.1%増）  
歳出決算額 75億 234万3,521円（前年度比3.2%増）  
歳入歳出差引額 1億7,392万 628円
- 2 要介護認定率は15.3%。総合事業対象者を合わせると16.4%であり、要介護認定率は若干減少している。要介護認定率を高齢者の前期と後期で分けて算出すると前期高齢者2.8%、後期高齢者28.0%である。
- 3 介護（予防）給付費の総額は65億3,982万9,993円で、前年度比で約1億5,050万円、2.4%増となっている。市内の病院の療養型施設が介護老人福祉施設に転換したこと、また、河東地区に新しく特別養護老人ホームが開設されたことにより、施設サービスのうち介護療養型医療施設費が大幅に減少し、介護老人福祉施設費が増加している。
- 4 地域支援事業費の利用者負担金等を含んだ事業費総額は、4億7,198万3,559円で、前年度比で約4,200万円、9.7%増となっている。大きく増加しているのは、包括的支援事業及び任意事業のうち包括的支援事業（社会保障充実分）で、前年度比170.5%増となっている。
- 5 介護（予防）給付費と地域支援事業費を合わせると、70億1,181万3,552円で、前年度比で約1億9,200万円、2.8%増となり、事業費は年々増加している。
- 6 29年度は、27年度から3年間の第6期介護保険事業計画の3年目である。第6期の計画値に対する実績値の比率は91.0%で、計画よりも給付が低水準で推移している。

#### 〔介護サービス事業勘定〕

- 1 歳入決算額 2,777万2,732円（前年度比38.8%減）  
歳出決算額 2,777万2,732円（前年度比36.4%減）  
歳入歳出差引額 0円

- 2 歳入決算額の主なものは、要支援1、2の人に対するケアプラン作成に係る報酬である。歳出決算額の主なものは、ケアマネジャーの人件費と、介護予防給付のケアプラン作成や介護予防ケアマネジメントの委託料である。
- 3 歳入歳出決算額が減少している主な理由は、地域包括支援センターの委託拡大により、宗像市地域包括支援センターの事業が縮小したことによるものである。

### 【意見】

#### （賛成意見）

- ・介護保険制度は、これからの少子高齢化社会を考えると絶対に必要な制度であるので、制度存続のためにも適切な収納は必要である。市民に寄り添う気持ちを持って対応し、市民がこの制度があって助かる、ありがたいと言えるような仕組みを作ってほしい。
- ・若年性認知症について、一家の働き手が認知症になると、家族や子どもも苦しい状況になる。早期発見すれば5年程度は進行抑制できるとも発表されており、そうすれば生活も維持でき、医療費の抑制などの効果もある。現役世代の若年性認知症について、今後研究を進めてほしい。

#### （反対意見）

- ・国は介護費用をできるだけ抑制しようとしているので、国の制度改正に対して、市長には機会あるごとに市町村の実態を提起してほしい。また、本市には低所得者に対する市独自の利用料金の減免制度がないので、基金を利用してでも減免制度を検討してほしい。

### 【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

## 第71号議案 平成29年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに5,050万9,654円（前年度比4.8%増）
- 2 介護認定審査会は福津市と共同で設置しており、29年度は16合議体で延べ234回開催した。審査件数は宗像市と福津市の合計で5,000件。構成比率は宗像市61.5%、福津市38.5%。この割合を基礎に、福津市の負担金と本市の繰入金を算出している。主な歳出は、認定審査会の委員報酬と旅費である。
- 3 28年度から要介護認定更新申請の全てを対象に認定有効月数が最大24カ月に延長可能となったため、29年度の審査件数は前年度比24.4%減となった。

### 【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

## 第 72 号議案 平成 29 年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 7億1,689万 86円（前年度比14.5%減）  
歳出決算額 6億9,864万7,213円（前年度比16.7%減）  
歳入歳出差引額 1,824万2,873円
- 2 29年度の乗客数は大島航路、地島航路合わせて32万9,541人で、前年度比17.9%増となった。この理由は、世界遺産登録による観光客の増加によるものだと考えられる。また、車両の航送台数は1万605台で、前年度比27.2%増となった。この理由は、西鉄バスによる大島島内周遊観光バス（グランシマール）が運行日ごとにフェリーを利用してしたこと、旅行会社のマイクロバスの利用が多かったことによるものである。
- 3 29年度決算は黒字決算となった。その主な要因は、乗客数の増加により事業収入が増加したこと、旧フェリーが予定価格を大幅に上回る額で売却できたこと、前年度のフェリー建造に伴う消費税還付と交通エコロジー・モビリティ財団からの補助金の臨時収入があったこと、旧フェリーの売却が決まっていたためドック検査の簡略検査が認められ、ドック検査費用が通常よりも低く抑えられたことによるものである。

### 【意見】

#### （賛成意見）

- ・島民の生活航路であるという観点からすれば、いろいろな立場から検討していくべき課題もあると思う。同じ宗像市民でありながら、島民には島に住んでいるということだけでも負担がかかっているのので、問題を解消するために他の課もあわせて頑張ってもらいたい。
- ・世界遺産登録に関わらず、島民の暮らしを支援するのは行政の務めである。渡船料金の減免制度についても、子育てや高齢者支援、福祉の立場など様々な角度から検討するよう要望する。また、船員の確保は重大な課題であるため、船員養成校への働きかけを行ってほしい。
- ・船の老朽化によるトラブルも少しずつ出てきているが、島民の生活航路であるので、そこに対する職員の技術的担保に、より一層力を入れてほしい。

### 【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

## 第 73 号議案 平成 29 年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算認定について

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 3億943万1,844円（前年度比17.2%増）  
歳出決算額 3億899万3,954円（前年度比17.1%増）  
歳入歳出差引額 43万7,890円
- 2 下水道使用料収入は3,606万5,523円で、収納率は95.9%、前年度比0.7ポイント上昇した。

- 3 歳入決算額増加の主な要因は、鐘崎処理場のポンプ場化に係る工事等により国庫補助金と市債が増加したことによるものである。歳出決算額増加の主な要因は、鐘崎漁業集落排水施設工事費などの増加によるものである。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で認定した。

**第 74 号議案 平成 29 年度宗像市下水道事業会計決算認定について**

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 収益的収支の決算状況（税込み）

収入決算額 28億9,158万8,480円

支出決算額 24億748万9,788円

収支差引額 4億8,409万8,692円

2 資本的収支の決算状況（税込み）

収入決算額 3億6,336万348円

支出決算額 13億4,711万487円

収支差引額 △9億8,375万139円

収入不足分は、損益勘定留保資金等で補てんしている。

- 3 下水道使用料の収納率は、現年度分97.1%で前年度比0.1ポイント低下、過年度分は76.3%で5.9ポイント上昇した。
- 4 主に山田地区などでの汚水管渠整備を行った結果、29年度末の下水道の普及率は96.6%となり、前年度から0.2ポイント上昇し、総延長578.4km、処理区域面積2,606haとなった。また、深田地区と須恵地区で雨水排水路整備を行った。
- 5 降水量が少なかったことにより不明水が減少したため、有収率は84.8%となり前年度より4.8ポイント上昇した。

**【意見】**

**（賛成意見）**

- ・ 今後は、処理水や汚泥、処理場や管渠を有効利用していくことを考えていく必要がある。有用性を持った施設として多目的利用をしていくことも検討して事業を進めてほしい。

**【審査結果】**

委員会は賛成多数で認定した。

**第 76 号議案 平成 30 年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）について**

歳入歳出それぞれ131万6千円を増額し、537万4千円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

29年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で減債基金積立金を増額する。

### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

## 第77号議案 平成30年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ3億9,726万2千円を増額し、100億4,653万6千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出それぞれ205万2千円を増額し、8,922万円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 事業勘定の補正の主な内容は、歳入では、29年度決算額の確定に伴う繰越金の増額と県単単位化に伴うシステム改修補助として県支出金を増額する。歳出では、一般事務費、国・支払基金等への過年度返還金、医療費適正化特別対策事業費、基金積立金を増額する。
- 2 決算剰余金のうち国民健康保険基金に積むべき財源の一部を活用して、新たな保健事業として在宅歯科訪問事業と運動施設利用料金助成事業を開始する。
- 3 直営診療施設勘定の補正の主な内容は、医療機器故障により新規購入するため、歳出では、医療用機械器具費を増額し、歳入では、29年度決算額の確定に伴う繰越金の増額と、医療機器購入に過疎対策事業債を活用するため市債を増額し、一般会計繰入金を減額する。

### 【意見】

#### （賛成意見）

- ・在宅歯科訪問事業については、事業対象者に施設入所者も含めるよう検討してほしい。また、運動施設利用料金助成事業では、市の補助のない病院で人間ドックを受診した人にも柔軟に対応するよう要望する。
- ・運動施設利用料金助成事業では、特定健診受診率向上や市民の健康につながる良い効果を期待している。スポーツ担当部署との連携も視野に入れて事業を進めてほしい。

### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

## 第78号議案 平成30年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出それぞれ1,698万5千円を増額し、16億2,248万円とする。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

29年度決算額の確定に伴い、歳入では、繰越金の増額と、在宅歯科訪問事業費が全額福岡県後期高齢者医療広域連合の補助金で賄われるため諸収入を増額する。歳出では、在宅歯科訪問事

業委託料を増額し、29年度分保険料確定に伴い後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第79号議案 平成30年度宗像市介護保険特別会計補正予算（第1号）について**

保険事業勘定は、歳入歳出それぞれ1億8,057万6千円を増額し、81億3,710万7千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

29年度決算額の確定に伴うものと、介護保険制度改正に伴うシステム改修に係る国庫補助金の増額である。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第80号議案 平成30年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出予算の総額は変わらず、歳入の内訳を補正する。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

29年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、繰入金を減額する。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

**第81号議案 平成30年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第1号）について**

歳入歳出それぞれ157万2千円を増額し、4億3,161万2千円とする。

**【審査内容】**

明らかになった主な事項は次のとおり。

公営企業会計適用債の借入額確定により公債費元金を増額する。また、29年度決算額確定に伴い繰越金と繰入金を増額する。

**【審査結果】**

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。



## 第 82 号議案 平成 30 年度宗像市下水道事業会計補正予算（第 1 号）について

収益的収入及び支出において、収入を 1,097 万 8 千円減額し、収入総額を 27 億 7,524 万 5 千円に、支出を 1,901 万 6 千円減額し、支出総額を 23 億 5,249 万 9 千円とする。資本的収入及び支出において、29 年度決算額の確定に伴い減債積立金等で補てんする額を改める。

### 【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

29 年度決算額の確定によるものと、宗像終末処理場内にし尿の前処理施設を新設することに伴い、全体計画の変更が必要であるため委託料を増額するものである。

### 【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。